

あなたは、どんな長門市をつくりませんか？

長門市では、市民のみなさんがお住まいの地域の中で、ともに支え合い、助け合って、誰もがその人らしく、安心して、よりよく生きることができる社会のしくみをつくるため、「長門市地域福祉計画」の策定に向けて取り組んでいます。

市民のみなさんの率直なご意見を反映し、みなさんのお役に立てる計画にするため、平成18年2月、「あなたが主役！みんなでまちづくり」というアンケート調査を実施しました。その結果をお知らせいたします。

アンケートでは、おもに次の3つの項目について質問しました。

- ① 地域の活動への参加について
- ② 福祉サービスについて
- ③ 協働による

福祉のまちづくりについて

調査の結果、地域の中で、安心して暮らしていくためには、「雇用の安定」、「老人ホーム等施設や事業の充実」、「地域医療体制の充実」の3つが特に重要であるという結果になりました。

「福祉サービス」については、少子高齢化が進行する中で、「交通手段の確保」という回答が70%以上を占め、多くの人が必要と感じています。

今後、ともに助け合い、支え合う地域づくりを進めるために「住民」「事業所」「行政」のそれぞれの役割は何かについて質問したところ

・住民の役割

ご近所との関係をもつ

・社会福祉協議会などの事業所の役割

気軽にサービスを利用できるしくみをつくり活動・事業内容を説明する

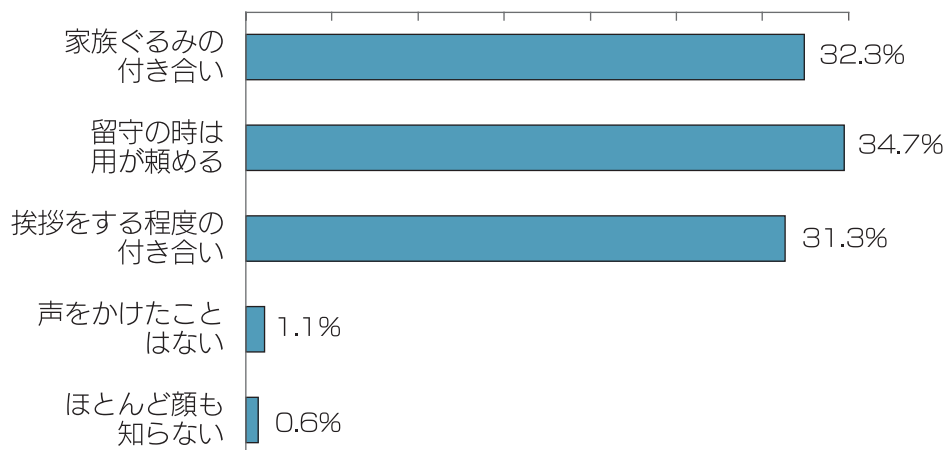
・行政の役割

情報の提供と福祉活動の意義や重要性を知らせる

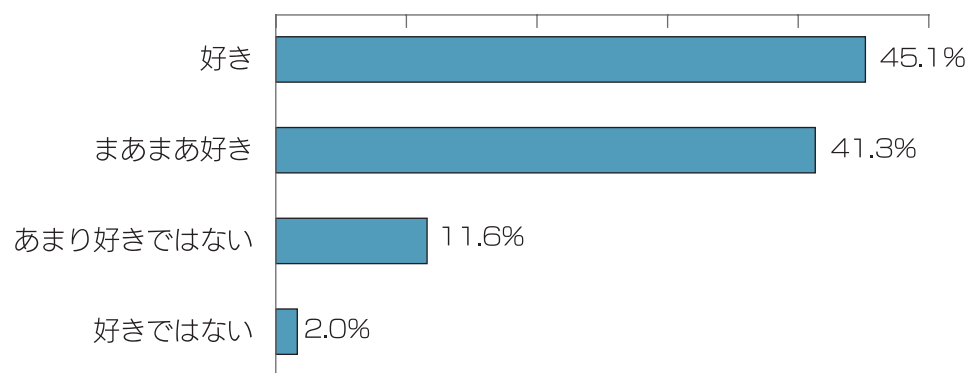
という回答が上位を占めました。この結果を策定委員会等で検討し、長門市の地域福祉の推進に活かしていきます。

以下、アンケート調査結果の概要について、お知らせします。

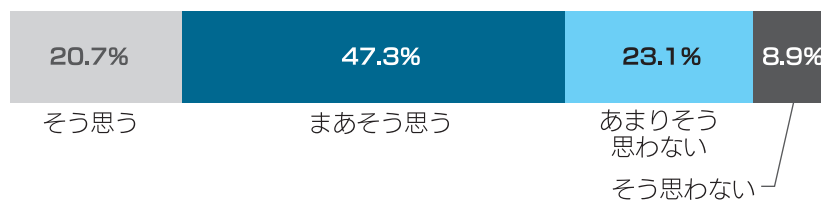
Q. ご近所とどの程度の付き合いをしていますか？



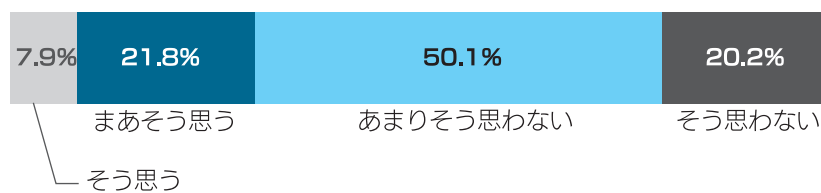
Q. 住んでいる地域が好きですか？



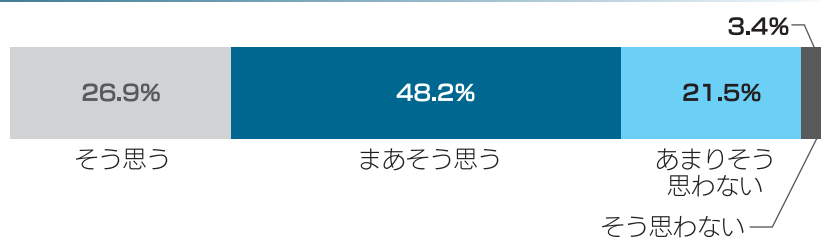
Q. 今の生活に満足していますか？



Q. これからだんだん良くなる地域だと思いますか？



Q. 地域のために何か役に立ちたいと思いますか？



1. 地域の活動への参加について

今、住んでいる地域は好きだけど、

将来は不安？

地域での支え合いを推進する上では、近所付き合いなどの人間関係や自分が住んでいる地域に対する関心等が重要になります。

「ご近所と、どの程度のお付き合いをしていますか？」という質問に対し、「家族ぐるみの付き合い」、「留守の時は用が頼める」という回答が67%を占め、多くの人が地域と強い関係を持って暮らしていることがわかりました。

「住んでいる地域が好きですか？」という質問に対し、「好き」(45・1%)と

「まあまあ好き」(41・3%)という回答が86・4%を占め、多くの人が自分の住んでいる地域に良い印象を持っていることがわかりました。

また「今の生活に満足していますか？」という質問に対しても、「そう思う」(20・7%)、「まあそう思う」(47・3%)、を合わせると回答者の約70%が今の生活に満足していると回答しています。

このように地域への愛着度が高いにもかかわらず、「これからだんだん良くなる地域だと思いますか？」という質問に

対しては、「そう思う」(7・9%)、「まあそう思う」(21・8%)と答えた人に対して、「あまりそう思わない」(50・1%)、「そう思わない」(20・2%)と答えた人が、70%に達しています。

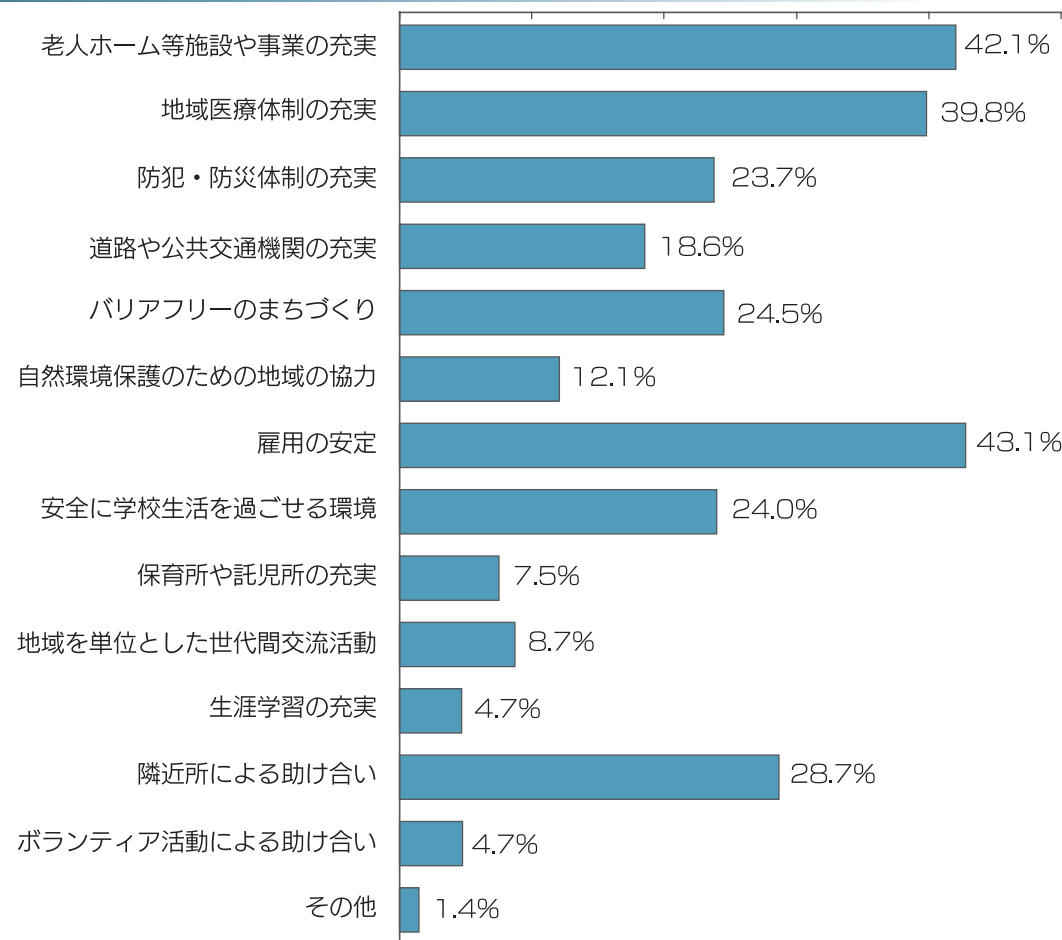
地域に対する貢献については、「地域のために何か役に立ちたいと思いますか？」という質問に対し、「そう思う」(26・9%)、「まあそう思う」(48・2%)を加えると回答者のうち約75%が自分の住んでいる地域のために役立ちたいと考えています。

雇用の安定が大事！

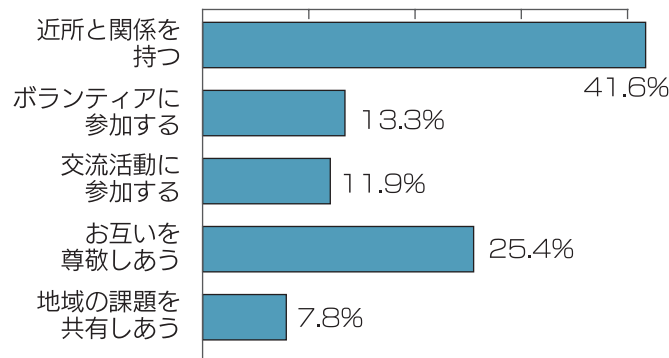
「地域の中で安心して暮らしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか?」という質問に対しては、「雇用

の安定」(43・1%)、「老人ホーム等施設や事業の充実」(42・1%)、「地域医療体制の充実」(39・8%)という回答が上位を占めました。

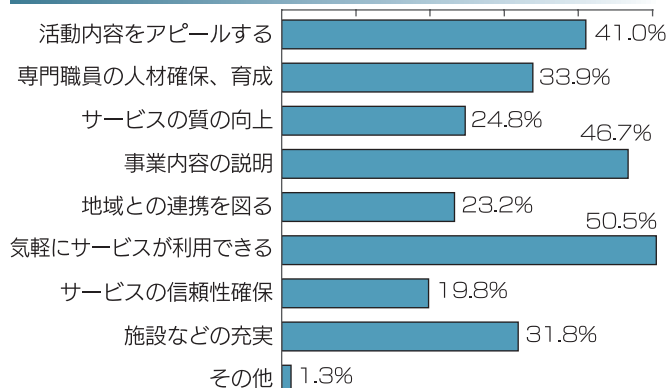
Q. 地域の中で安心して暮らしていくために何が大切だと思いますか？（複数回答）



**Q. ともに助け合い、支え合う地域作りを推進するために
自分の役割として何が重要だと思いますか？**



**Q. ともに助け合い、支え合う地域作りを推進するために
社会福祉協議会、福祉サービスを行う事業所などの
役割として何が重要だと思いますか？**（複数回答）



3. 協働による福祉のまちづくりについて

ともに支えあう地域づくりを進めるためには、「住民」「事業所」「行政」がそれぞれ役割を分担し、協働することが必要になります。

「ともに助け合い、支えあう地域づくりを推進するために、自分の役割として何が重要だと思いますか？」という質問に対し、「近所との関係をもつ」（41・6％）と回答した人が最も多い反面、「地域の課題を共有しあう」と答えた人が7・8％に留まりました。

地域づくりを進める上で、重要なポイントとなる「地域課題の共有」について

の意識はまだまだ低く、今後の大きな課題といえます。

「ともに助け合い、支えあう地域づくりを推進するために、社会福祉協議会、福祉サービスを行う事業所などの役割として何が重要だと思いますか？」という質問に対しては、「気軽にサービスが利用できる」（50・5%）、「事業内容の説明」（46・7%）、「活動内容をアピールする」（41%）が上位を占めています。

「ともに助け合い、支え合う地域づくりを推進するために、行政の役割として何が重要だと思いますか?」という質問に対して、「情報の提供」(41・5%)、「福祉活動の意義や重要性を知らせる」(36・8%)という回答が上位を占めています。

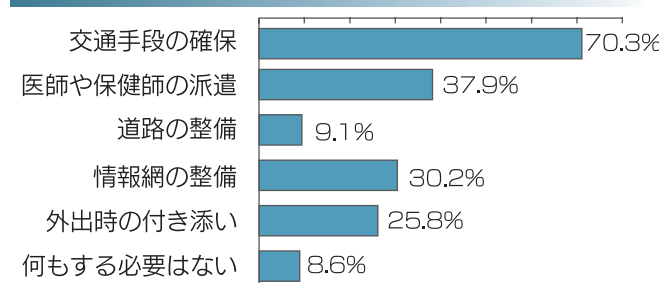
2. 福祉サービスについて

「長門市ではどのような福祉サービスを進めていく必要があると思いますか?」という質問に対し、「交通手段の確保」という回答が70・3%を占め、他の福祉サービスと比べ、必要性が極めて高いことを示しています。

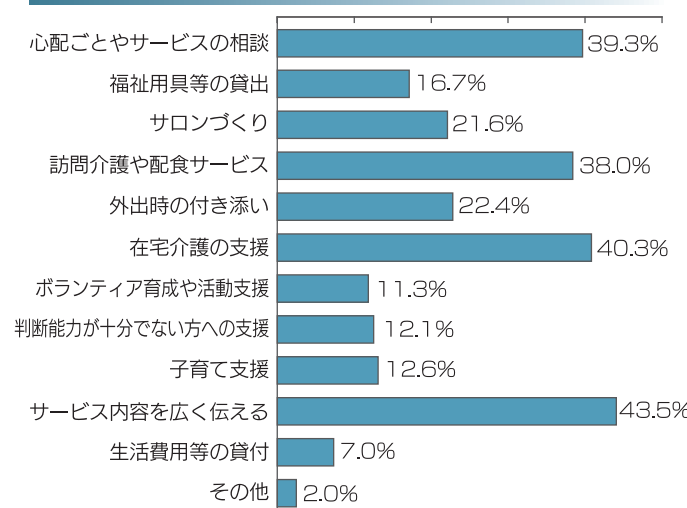
次に「長門市社会福祉協議会をご存知ですか?」という質問に対しては、「よく知っている」(32・7%)、「名前だけは知っている」(61・6%)という回答が得られました。

この2つのうちどちらかを答えられた人に、「長門市社会福祉協議会はどのよ

Q. どのような福祉サービスを進めていく必要があると思いますか？（複数回答）



Q. 長門市社会福祉協議会はどのような活動を進めるべきだと思いますか？（複数回答）



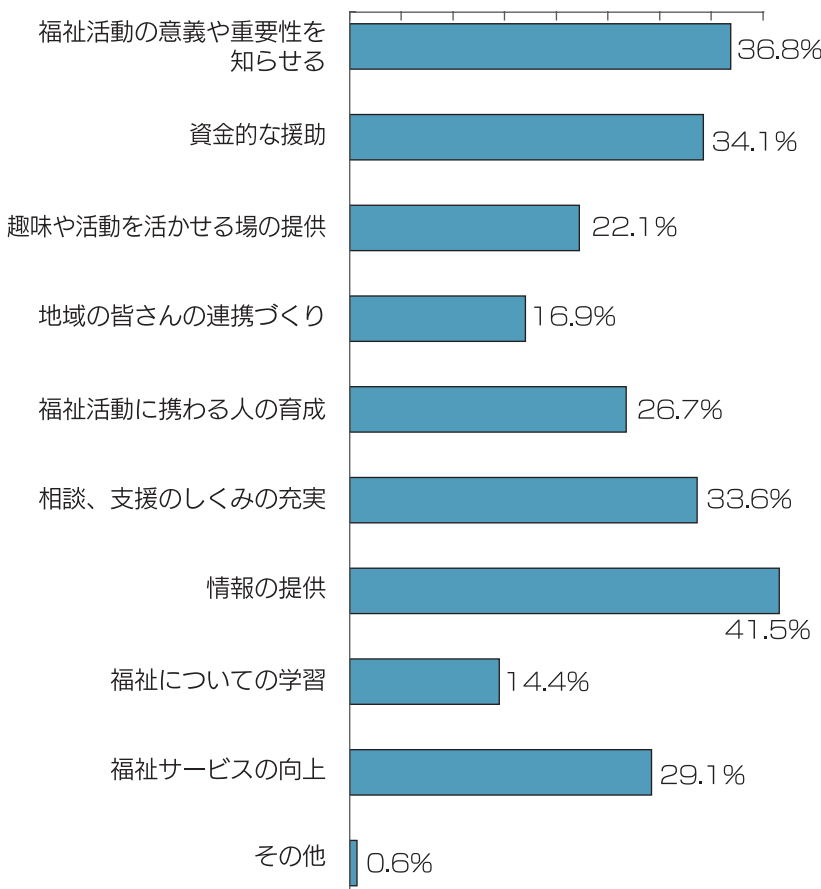
うな活動を進めるべきだと思いませんか？」という質問をしたところ、「在宅介護の支援」(40・3%)、「心配ごとやサービスの相談」(39・3%)という福祉サービスよりも、基本的な役割である「サービスの内容を広く伝える」(43・5%)が第1位となりました。

社会福祉協議会の活動について、市民のみなさんにもっとよく知っていただくための工夫が必要だと考えられます。

また、受益者負担の考え方から、今後予想されるサービス利用料の増加について質問したところ、「しかたない」という回答が49・6%、「よくない」という回答が39・7%と意見が分かれました。サービスの充実と利用料の増加については、今後の大きな課題といえます。

福

**Q. とともに助け合い、支え合う地域作りを推進するために
行政の役割として何が重要だと思いますか？**



福祉のまちづくりに向けて、さまざまな課題に地域全体で取り組むために、地域に暮らす住民、事業所や団体、行政が協働しながら主体的な活動を進めていくことが重要です。

「地域福祉」とは地域みなさんが主役の福祉のことです。自分たちの暮らす長門のまちに、みなさんのほんの「ちよつと」の思いやり。みんなの「ちよつと」が集まれば、しあわせはさらに大きくふくらみます。人と人との暖かい関係、地域のきずなをこれからもずっと大切にしていきたいものです。

調査にご回答くださいました市民のみ
なさんにお礼を申し上げます。
また、多数の貴重なご提言をいただき、
ありがとうございました。この調査結果
を参考にして「長門市地域福祉計画」の
策定に取り組みます。

なお、くわしい内容等については、市ホームページおよび本庁地域福祉課、各総合支所（市民福祉課健康福祉係）、出張所で閲覧することができます。

■ 問い合わせ

市民福祉部 地域福祉課 地域福祉係
TEL 23-1245